

たらちね

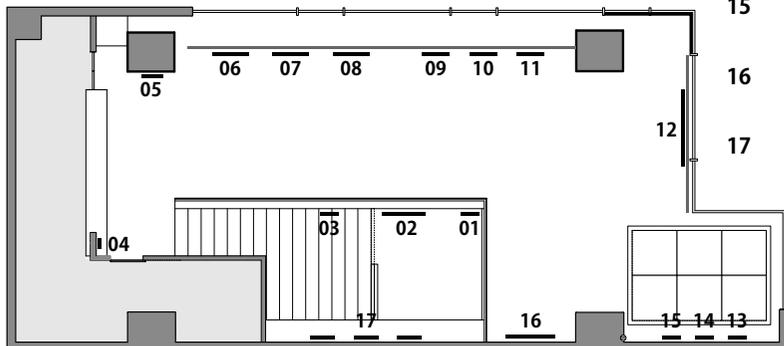
但馬 摩衣子

2011年に成安造形大学芸術学部研究生を修了した但馬摩衣子(たじま・まいこ・1987年・兵庫県生まれ)は、手描きによる柔らかな線と木の風合いを持つ木版リトグラフの手法を用いた版画表現を手がけています。

『江戸春画を題材に、独自に物語を紐解き男女の情事、情念を描いてきました。作品を通して鑑賞者の体験と、作品の中の男女がリンクするように「無さそうでよくある話」をテーマに描いています。』とする但馬は、江戸の男女の恋愛・性愛・風俗を描いた「春画」を引用し、そこに今日的な恋愛観や倫理観、あるいは但馬自身の個人的な経験などを重ねることで、男と女にまつわる独自の物語(情景)を紡ぎだします。画中に描かれる複数の男女は、表情は無くともその仕草や位置関係からまるで何かの一場面でもあるかのような情景を思わせませす。男女の狭間には不思議な生き物や食べ物、時になにかオドロオドロしく漂うイメージや記号などが漂いますが、それらは相まって男女の間の情念にも見えます。

女性の生き方が多様化する現代において、結婚・出産という個人的な経験の中で感じた「生きづらさ」を作品に昇華させたという但馬は、本展タイトルを「たらちね＝垂乳根」としています。「母」「父」「親」の意を持つこの言葉には、「女性」であり「母」であり「親」であることの現在の自分の中にある葛藤や弱さとともに、それらを引き受けていく強さをも垣間見ることが出来るのではないのでしょうか。

尚、本展会期中の2月27日(土)には、宗教考古学者・歴史学者・法制史家である小出一富(こいで・かずとみ)氏による江戸春画の見方やその魅力についてのレクチャー『春画にみる人類の性と生と死』とともに、小出氏と但馬のギャラリートークをあわせて開催いたします。



[階段部分]

- | | | | | |
|----|------------|------|----------|-----------------|
| 01 | たらちね | 2016 | 242×333 | インク、キャンバス |
| 02 | 受胎告知 | 2016 | 455×530 | インク、キャンバス |
| 03 | 福音 | 2016 | 242×333 | インク、キャンバス |
| 04 | 革命前夜 | 2012 | 170×260 | シルクスクリーン、いづみ |
| 05 | 両成敗 | 2016 | 410×530 | インク、パネル |
| 06 | えつこちゃんの憂鬱 | 2012 | 600×910 | 木版リトグラフ、ハーネミュール |
| 07 | やぶれかぶれ | 2012 | 600×910 | 木版リトグラフ、ハーネミュール |
| 08 | 四方山話 | 2012 | 600×910 | 木版リトグラフ、ハーネミュール |
| 09 | 干物女とゆでがえる | 2012 | 455×600 | 木版リトグラフ、ハーネミュール |
| 10 | 今日も誰かの男 | 2012 | 455×600 | 木版リトグラフ、ハーネミュール |
| 11 | 馴れ初め | 2012 | 455×530 | 木版リトグラフ、ハーネミュール |
| 12 | 色は思案の外 | 2014 | 900×1200 | 木版リトグラフ、ハーネミュール |
| 13 | 白雪姫の恋 | 2011 | 280×380 | シルクスクリーン、いづみ |
| 14 | がんばれえつこちゃん | 2011 | 275×410 | シルクスクリーン、いづみ |
| 15 | マーメイドジェラシー | 2011 | 256×415 | シルクスクリーン、いづみ |
| 16 | よくある話 | 2013 | 500×800 | 木版リトグラフ、ハーネミュール |
| 17 | 憂き世(3枚組) | 2012 | 1500×710 | 木版リトグラフ、ワトソン |

[作家略歴]

但馬 摩衣子
maiko tajima

1987 兵庫県生まれ
2010 成安造形大学造形美術科 洋画クラス卒業
2011 成安造形大学芸術学部 研究生修了

《主な展覧会・グループ展》

- | | |
|------|---|
| 2008 | 第33回全国大学版画展/町田市立国際版画美術館 |
| 2009 | 成安造形大学進級制作展/滋賀県立近代美術館
関西七芸術大学 ポートフォリオ展/石田大成社ホール
ART AND CRITIQUE 2009/成安造形大学ギャラリーアートサイト
第34回全国大学版画展/町田市立国際版画美術館 |
| 2010 | 成安造形大学卒業制作展/京都市美術館
関西七芸術大学 ポートフォリオ展/石田大成社ホール
第35回全国大学版画展/町田市立国際版画美術館 |
| 2011 | 成安造形大学卒業制作展/京都市美術館
二人展 もうひとつのアムール展/ギャラリーPARC
二人展 アムール展/成安造形大学コンテンツポラリーギャラリー
八芸術大学ポートフォリオ展/MATSUO MEGUMI + VOICE GALLERY
アートオークションStory Vol3/新島会館2階ホール |
| 2012 | エモーション・リリース・リプリーズ/成安造形大学 ギャラリーアートサイト
アートオークションStory Vol.4、アンスティチュ・フランセ関西 京都
版画の未来図とグローバルビジョン/京都精華大学ギャラリーフロー |
| 2013 | 版画の魅力展/芝田町画廊 大阪
個展「四方山話」/雅景館 京都 |
| 2015 | FINE ART 新進芸術家育成交流作品展2014-2015/茨城県つくば美術館 |

レクチャー：トークイベント

2016年2月27日(土) 17:00～19:00 入場無料・予約不要

イベント主催: MediArt (<http://jp-ueda.com/>)

【第一部】レクチャー: 春画講座「春画にみる人類の性と生と死」(小出一富氏)

【第二部】アーティストトーク: 但馬摩衣子

昨年東京で開催された春画ナイトの第2弾。「春画とは?」という切り口に対して宗教考古学者・小出一富氏がわかりやすく解説してくれるレクチャーと、本展出品作家である但馬摩衣子との対談によるアーティストトークを開催致します。

小出一富(こいで・かずとみ)

1981年、東京生まれ。宗教考古学者・歴史学者・法制史家。小学生のころから『古事記』『日本書紀』『源氏物語』『資治通鑑』などに原文で親しむ。東京大学中退後、起業、就職、国内外大学での遊学を経て26歳で大学に再入学。在学中に公益社団法人 温故學會 研究員に就任。平成27年4月より同學會 監事に最年少で就任。そのかたわら株式会社 TBS テレビに勤務。各大学での講師のほか、歴史を身近に感じてもらうためのトークイベントにも出演。2014年10月に海竜社より『人生が変わる古事記』がAmazonでジャンルランキング1位を獲得。今大注目の若手歴史家である。